

## 公共事業再評価調書

番 号	道路-2	事業担当局課	磯子区磯子土木事務所		
事業名	市道蒔田第480号線道路改良事業		採択年度	H2年	
施工場所	磯子区磯子六丁目～岡村五丁目		経過年数	27年	
目的及び 事業概要	<p>目的</p> <p>本事業は、環状2号線屏風ヶ浦交差点から主要地方道横浜鎌倉向田橋交差点とを結び3.5km 区間のうち、磯子区内で未整備区間である山王台小入口交差点から南区境までの約900m 区間を整備するものです。当該路線は、磯子区の中心部と上大岡方面とを連絡する重要なバス道路ですが、笹堀交差点の主導線が交通量の多い南区側で無いため慢性的な渋滞が発生しています。</p> <p>また、歩道もないため歩行者にとって危険な道路となっており、本事業による歩道の両側設置と、笹堀交差点での主導線の変更及び右折レーン設置により、バスなどの車両交通の円滑化と歩行者の安全確保を図ります。</p> <p>なお、本事業は、再評価を平成13年、平成18年度及び平成23年度に実施しています。</p> <p>事業概要</p> <p>計画延長900m、幅員15m（車道9m、歩道3m×2）、用地面積 4,555㎡</p>				
			当初（事業採択時）	変更（平成28年度）	
	事業期間		平成2年度～平成13年度	平成2年度～平成33年度	
	事業費	合計	2,910百万円	2,835百万円	
		国費	—	—	
		市費	2,910百万円	2,835百万円	
	変更内容	用地交渉等が難航しており、事業に多くに時間を要しているため、事業期間を変更します。			
	上位計画等	横浜市中期4か年計画（2014～2017）の施策28「市民に身近なきめ細かい交通機能の充実」で、「歩行者の安全確保や地域の利便性の向上」として、「バス路線などにおける道路の改良など、市民の利便性の向上に資する道路改良を推進します。」としています。			
関連事業	特になし				
事業の 必要性	事業を巡る社会経済情勢等の変化	当該区間は通学路となっていますが、歩道がなく、歩行者の安全性の確保に課題があり、地元やスクールゾーン協議会からも安全性の向上について引き続き要望されています。			
	事業の投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)			事業全体	残事業
		割引率		4%（2%）	
		総便益（B）		122億円（189億円）	94億円（146億円）
		総費用（C）		38億円（28億円）	7億円（7億円）
		費用便益比（B/C）		3.2（6.7）	13.9（21.2）
		感度分析 〔交通量-10%〕		1.4（2.9）	4.6（7.0）
	<p>本事業箇所は歩道がないため、歩道を設置することにより歩行者の安全性が確保されます。</p> <p>また、車道の拡幅整備を行うことで、時間の短縮が図れ、バス利用者の利便性が向上します。</p> <p>〔その他特記事業〕</p>				

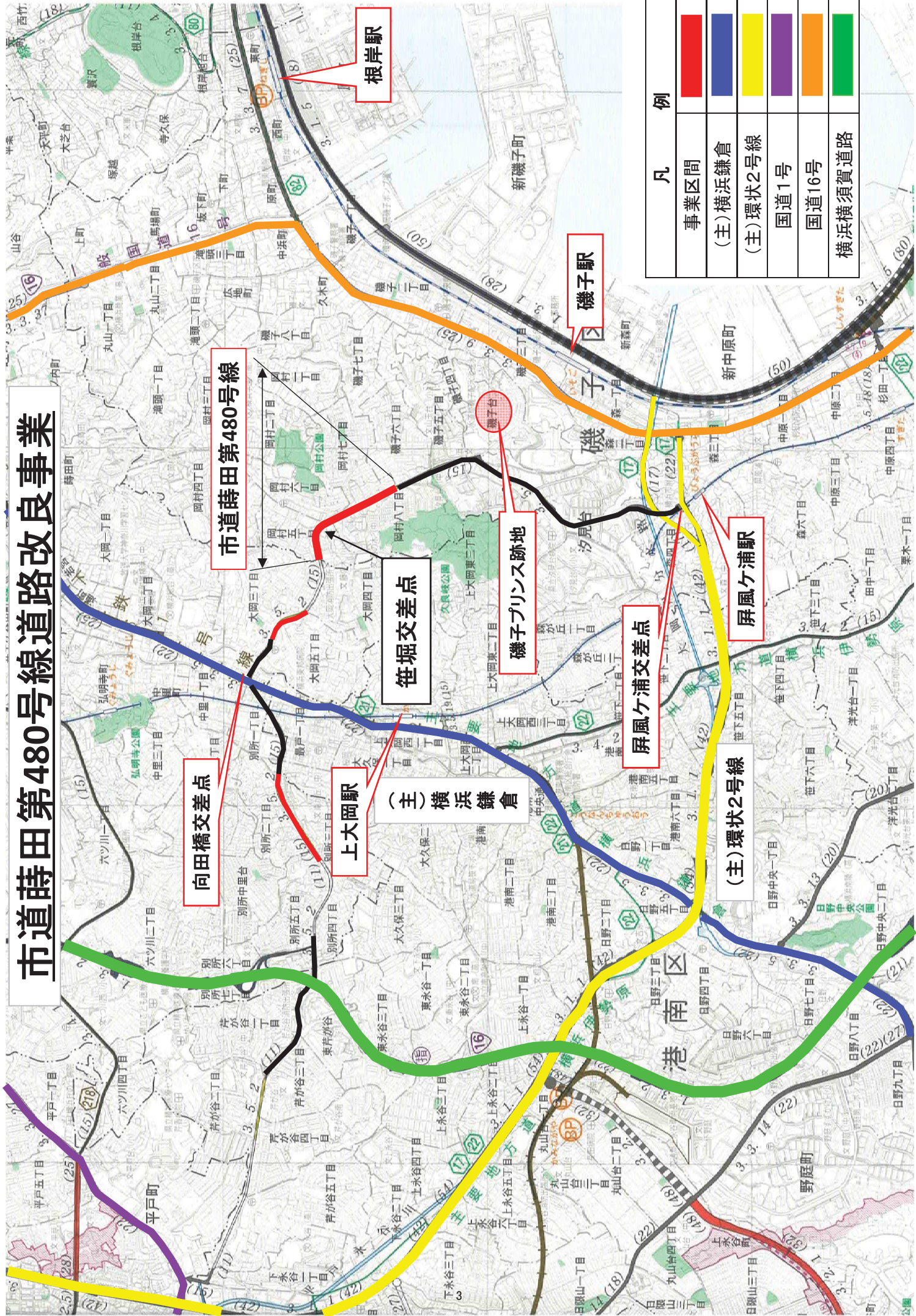
事業の進捗状況	事業進捗率%	平成 26 年度に笹堀交差点の改良工事を行い、主導線を岡村町側から南区境側に変更し、右折レーン設置したことで渋滞の緩和が図れました。
	73%	引続き今年度は終点側（南区境側）の下水道工事を行い、平成 29 年度末までに笹堀交差点付近から、終点側（南区境側）の約 120m を完了する予定です。 また、重点区間の残り約 184m を平成 31 年度までに、その他の区間を平成 33 年度までに完了する予定です。
	用地取得率%	
	68%	
	供用等の状況	
313m供用中		
事業の課題及び進捗見込み	<p>本地区は現道拡幅であり、店舗や戸建て住宅が多く、買収に伴い移転先の確保と建築工事が伴うため、用地取得に多くの時間を要していましたが、用地買収の進捗とともに地元の事業に対する理解が進み、平成 31 年度までに終点側（南区境側）及び重点区間が完成する予定です。</p> <p>残りの区間についても用地取得を進め、平成 33 年度までに工事を完了する予定です。</p>	
その他（コスト削減項目等）	舗装や構造物の基礎等の材料に、再生材を使用するとともに、現場から発生した建設発生土の工事間流用を行い、運搬費や残土処理費のコスト削減に可能な限り努めます。	
その他	特になし	
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	
対応方針	継続	<input checked="" type="checkbox"/> 計画通り(上記計画を実施)※1
		<input type="checkbox"/> 一部見直し(上記計画を変更)※2
		【見直し内容】
中止		

対応方針とした理由	<p>本事業は、都市計画道路汐見台平戸線として都市計画決定され、市民生活を支える重要な道路として位置付けられており、事業計画全体の用地取得を進めています。</p> <p>また、通学路にもかかわらず、歩道も無く安全の確保が十分でないことから早期の整備を望む声が、市民及びバス事業者からも寄せられています。</p> <p>既に部分的に拡幅も行われており、計画通り事業を継続する必要があると判断しています。</p>
-----------	--

※1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。

# 市道蒔田第480号線道路改良事業



凡例	色
事業区間	Red
(主)横浜鎌倉	Blue
(主)環状2号線	Yellow
国道1号	Purple
国道16号	Orange
横浜横須賀道路	Green

# 市道蒔田第480号線道路改良事業

山王台小学校  
入口交差点

重点区間 L=280m

笹堀交差点

工事完了  
L=95.8m

市道蒔田第480号線 L=900m

工事完了 L=217m

写真①

写真②

写真③

写真④

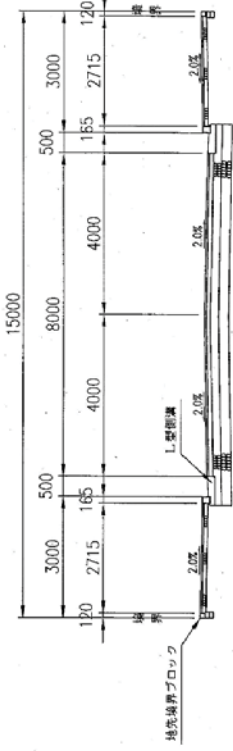
写真⑤

写真⑥

写真⑦

写真⑧

標準断面図 S=1:100



市道蒔田第480号線道路改良事業 写真①



市道蒔田第480号線道路改良事業 写真②



市道蒔田第480号線道路改良事業 写真③



市道蒔田第480号線道路改良事業 写真④



市道蒔田第480号線道路改良事業 写真⑤



市道蒔田第480号線道路改良事業 写真⑥



市道蒔田第480号線道路改良事業 写真⑦



市道蒔田第480号線道路改良事業 写真⑧





事業進捗状況

市道時田第480号線

(単位：百万円)

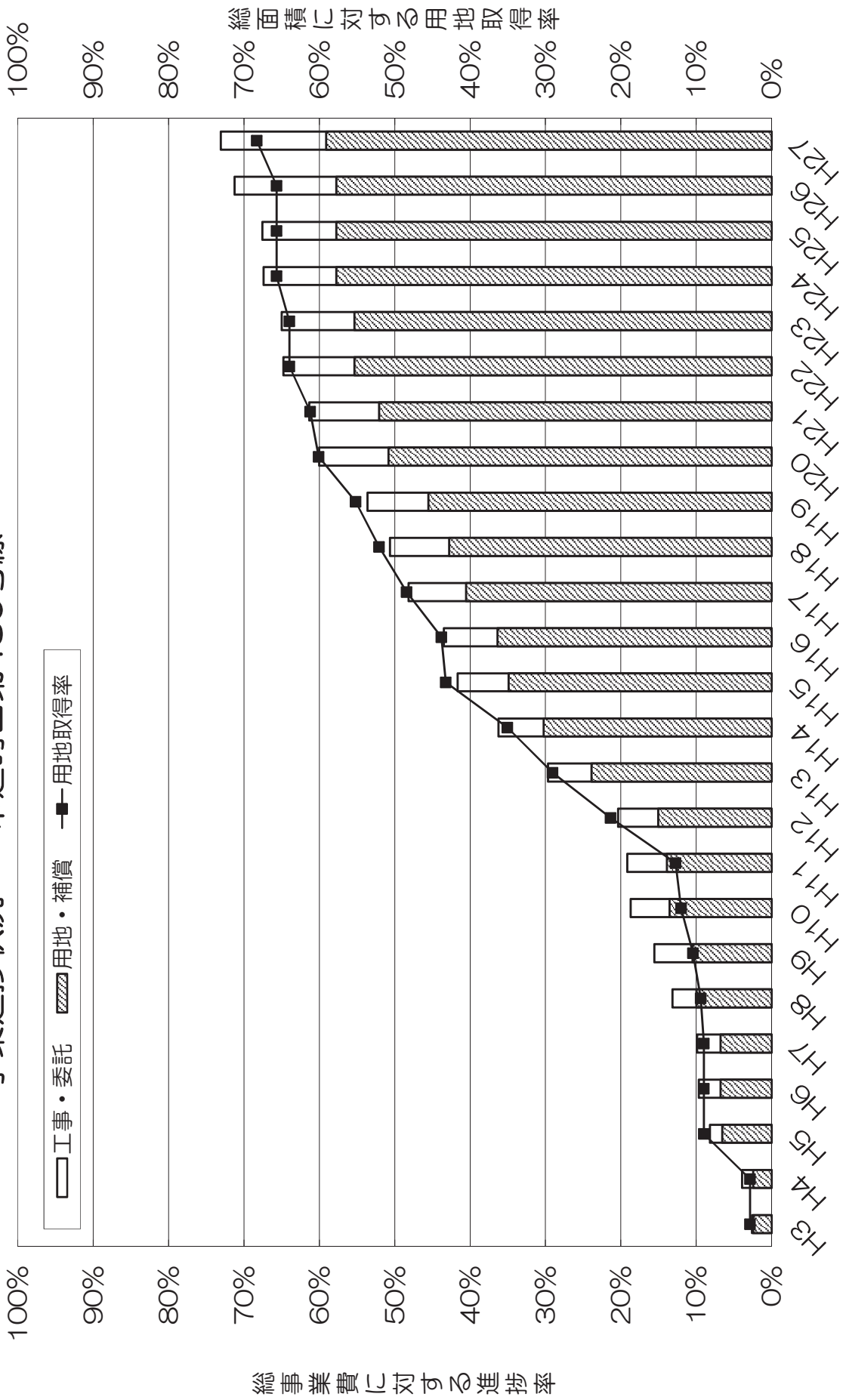
年度	単年度事業費		事業進捗率		用地取得				
	合計	用地・補償	工事・委託	合計※1	用地・補償※2	工事・委託※2	取得面積(m <sup>2</sup> )	累計(m <sup>2</sup> )	用地取得率※3
H3	74	70	4	2.6%	2.5%	0.1%	130	130	2.9%
H4	37	0	37	3.9%	2.5%	1.5%	0	130	2.9%
H5	121	116	5	8.2%	6.5%	1.6%	278	409	9.0%
H6	42	7	35	9.7%	6.8%	2.9%	0	409	9.0%
H7	6	0	6	9.9%	6.8%	3.1%	0	409	9.0%
H8	93	91	3	13.2%	10.0%	3.2%	20	429	9.4%
H9	68	15	53	15.5%	10.5%	5.1%	47	475	10.4%
H10	90	86	3	18.7%	13.5%	5.2%	71	547	12.0%
H11	12	10	2	19.1%	13.9%	5.2%	33	580	12.7%
H12	35	33	2	20.4%	15.0%	5.3%	394	973	21.4%
H13	263	251	12	29.6%	23.9%	5.8%	351	1,324	29.1%
H14	187	180	7	36.2%	30.2%	6.0%	273	1,597	35.1%
H15	153	132	22	41.7%	34.9%	6.8%	371	1,968	43.2%
H16	52	42	10	43.5%	36.3%	7.1%	27	1,996	43.8%
H17	133	119	14	48.2%	40.5%	7.6%	210	2,206	48.4%
H18	70	63	7	50.6%	42.8%	7.9%	165	2,371	52.1%
H19	84	78	6	53.6%	45.5%	8.1%	142	2,513	55.2%
H20	182	150	32	60.0%	50.8%	9.2%	224	2,737	60.1%
H21	37	36	2	61.3%	52.1%	9.3%	52	2,789	61.2%
H22	97	93	4	64.8%	55.3%	9.4%	124	2,913	64.0%
H23	6	0	6	65.0%	55.3%	9.6%	0	2,913	64.0%
H24	69	68	0	67.4%	57.8%	9.7%	78	2,991	65.7%
H25	4	0	4	67.5%	57.8%	9.8%	0	2,991	65.7%
H26	105	0	105	71.3%	57.8%	13.5%	0	2,991	65.7%
H27	51	38	13	73.1%	59.1%	14.0%	120	3,111	68.3%
合計	2,071	1,675	396				3,111		

※1 事業進捗率(合計)は全体事業費(様式3参照)に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※2 事業進捗率(用地補償、工事委託)は全体事業費に占める各年度までの用地補償費もしくは工事委託費の割合

※3 用地取得率は事業全体の取得面積(様式3参照)に占める各年度までの取得面積の割合

# 事業進捗状況 市道時田第480号線



## 前回再評価内容との比較

	前回 (H23)	今回 (H28)	5年間の経過
事業を巡る社会 経済情勢等の変 化	本路線は、京急上大岡駅、京急屏風ヶ浦駅、 JR 磯子駅及び JR 根岸駅等へのアクセスに重 要な路線となっています。平成 25 年には、磯 子プリンスホテル跡地に集合住宅及び商業施 設の建設が決定しており、周辺地区より増加す る交通量に対する改善要望が高まっています。	当該区間は通学路となっていますが、歩道が なく、歩行者の安全性の確保に課題があり、地 元やスクールゾーン協議会からも安全性の向 上について引き続き要望されています。	本路線での用地取得率は 68% です。特に重 点区間として位置付けている笹塚交差点の前 後約 280m を主に事業を進めおり、用地取得 率は 86% となっています。 また、現道との線形や摺付けに必要な終点側 (南区側) の用地取得も同時に進めています。
事業進捗率	65%	73%	+8%
用地取得率	64%	68%	+4%
供用等の状況	217m	313m	約 96m
事業の 進捗見込	終点側 (南区側) 含む重点区間の用地取得を 進めるにあたり、時間を要してまいりましたが、一 部を除き用地取得に目処が立ったため、交差点 改良については、一部工事を平成 20 年に実施 し、本格工事を平成 23 年度より行い、平成 2 4 年度には完成予定です。その他区間について も用地取得、道路整備を実施し、平成 28 年度 の完成を目処に進めてまいります。	本地区は現道拡幅であり、店舗や戸建て住宅 が多く、買収に伴い移転先の確保と建築工事が 伴うため、用地取得に多くの時間を要していま したが、用地買収の進捗よくとともに地元の方 業に対する理解が進み、平成 31 年度までに終 点側 (南区境側) 及び重点区間が完成する予定 です。 残りの区間についても用地取得を進め、平成 33 年度までに工事を完了する予定です。	平成 26 年に実施した笹塚交差点部の改良 工事や、徐々に進んでいく用地取得状況によ り、住民の理解も深められてきました。 終点区間 (南区側) の用地交渉が進んだこと により、平成 28 年度に環境創造局による下水 道工事を行い、平成 29 年度には終点側 (南区 側) の道路工事に着手します。